

経営比較分析表（令和4年度決算）

山形県 上山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.49	100.00	2,550

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,584	240.93	118.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,697	2.36	1,142.80

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
前年度と比較し、資本費・維持管理費等が減額となったため2.94%の上昇となったが、依然として低い水準で推移している。引き続き使用料収入の確保及び維持管理費等の経費削減に努める必要がある。

④企業債残高対事業規模比率
施設の建設事業は完了し、償還が進んでいるため平均より低い数値となっている。ただし、今後長寿命化対策事業等の実施により再度上昇していくことが予想されることから、適正な投資規模を検討し企業債残高の抑制に努めていく。

⑤経費回収率
昨年度より汚水処理費が減額となったため数値は改善されたが、汚水処理費を使用料のみでは賄えていない状況であるため、今後も維持管理費等の可能な限りのコスト削減に努める必要がある。

⑥汚水処理原価
接続率が比較的良好いため、平均より低い数値となっている。

⑦施設利用率
平均より低く改善の必要があるが、既に水洗化率が97%以上高く、区域内の人口動態も踏まえると新たな加入は見込めず、今後も厳しい状況が続くと考えられる。

⑧水洗化率
平均より高く、97%を超えている。今後も未接続調査による現状把握に努めつつ、水洗化率向上のため啓発普及活動を推進していく。

2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水処理施設は、供用開始から13～38年が経過している。
管きよについては、建設からの経過年数が少ないため、一部処理区で機能診断により調査を実施した。
処理施設の設備や機器（機械、電気設備類）については、耐用年数を過ぎた設備類が多数存在する。
設備・機器等に関する老朽化対策については、一部予防保全型で更新したが、事後保全型による施設もあるため、修繕費は年々増加傾向にある。

全体総括

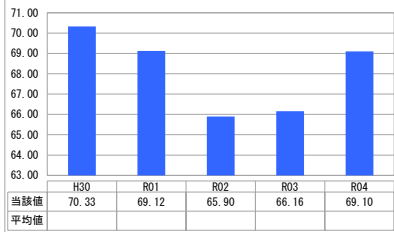
【料金水準の適正化】
全ての地区で整備が完了していることから、新規加入等による大幅な増収などは見込めないため、適正な使用料を確保すべく、使用料の引き上げについても段階的に検討しながら、令和6年度の法適用化を見据えた事業の継続に努める。

【施設の老朽化対策】
これまで実施した処理施設の機能診断調査や最適化整備構想に基づき、予防保全型と判断された設備・機器類について、一部計画的に改築・更新を実施した。その他の施設についても計画的に改築・更新を実施し、維持管理費用の平準化を図っていく必要がある。

また、事後保全となった機器類についても、機器の重要度を判断しながら、かつ、定期点検や修繕記録を参考に、改築・更新を実施し、処理不能となる重大事故の発生を未然に防いでいく。

1. 経営の健全性・効率性

①収益の収支比率(%)



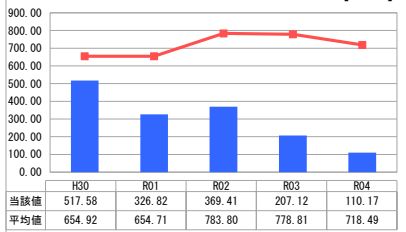
②累積欠損金比率(%)



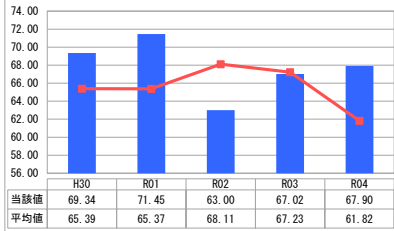
③流動比率(%)



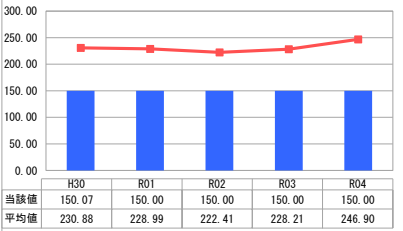
④企業債残高対事業規模比率(%)



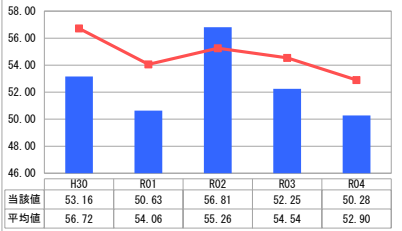
⑤経費回収率(%)



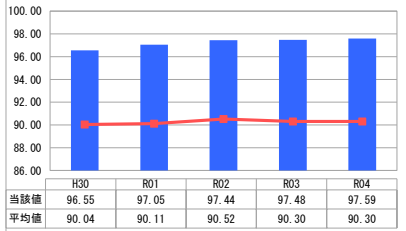
⑥汚水処理原価(円)



⑦施設利用率(%)



⑧水洗化率(%)



2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



②管渠老朽化率(%)



③管渠改善率(%)



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。